

2021年度 総研プロジェクト募集要項

2020年7月 総合研究所

総合研究所の役割とプロジェクト募集の趣旨

総合研究所は、本学の研究者の個別的研究を支援するだけでなく、専攻分野を超えた学際的な研究を企画・実施し、かつ学外の研究者や諸団体との学術的交流を図るための全学組織です。国際的視野の研究の推進も重要な課題です。総研プロジェクトは、こうした役割を具体的に実現するための研究助成の枠組みであり、「統一テーマ」と「自由テーマ」から成っています。

1. 統一テーマ

2021年度総研プロジェクトの統一テーマは、昨年度と同じく以下の3つであり、学際的な共同研究の必要性の高さと社会的ニーズの大きさを意識して選定されたものです。現在、総合研究所では私立大学改革総合支援事業タイプ2（※）への申請を計画しており、以下のテーマはその土台となる研究の蓄積にも役立ちます。今後、希望者を募って特集号を組んだり公開プレゼンテーションを行うこと等も検討しています。

※私立大学改革総合支援事業タイプ2は「特色ある高度な研究の展開」と題して50校程度を採用するもの。社会的要請の高い課題の解決に向けた研究やイノベーション創出等に寄与する研究、他大学等と連携した研究など、大学の特色化・機能強化を促進する研究を支援（文部科学省高等教育局私学部HPより）。

(1) 『マイグレーションとディアスポラ……歴史と現代』

(学際的企画／人類学、歴史学、社会学、経済学等)

本プロジェクトは、日本およびアジア諸地域、欧米、アフリカ、オセアニアにおける歴史上のマイグレーション現象、ディアスポラ現象、マイノリティの形成、現代の異文化接触・文化的宗教的摩擦・衝突・共存等の諸事例を調査し、グローバルリテラシーの向上を助けることを目的とする。

(2) 『グローバル化と女性のエンパワーメント』

(学際的企画／社会学、経済学、経営学等)

グローバル化が進むなか、女性のエンパワーメントに関して、地域間の差は歴然としており、このことは経済・社会・文化のあらゆる面に及ぶグローバルな人的交流や組織間の連携の妨げにもなっている。本プロジェクトは、女性のエンパワーメントに関する国際比較を行い、古いジェンダー構造を残す企業、学校、諸団体に意識改革と制度改革の材料を提供することを目的としている。（調査対象には政治・経済・教育・芸術・スポーツ等の分野を広く含む。）

(3) 『人工知能(AI)と人間社会……日本および諸外国の事例研究と将来への提言』

(学際的企画／経済学、情報科学、社会思想、文学、自然科学等)

本プロジェクトは、AI研究・システム開発の現状、内外におけるこの技術の導入状況、検討状況を考慮し、AIが人間社会に及ぼす影響（たとえば人間の労働のあり方、知的活動、身体的活動、対人関係、組織のあり方、企業経営、福祉や医療への影響など）について考察、その成果を地域社会に提供することを目的とする。

2. 自由テーマ

科研費への応募もしくは科研費採択中のテーマを踏まえ、申請者自身の研究領域に基づいて自由にテーマを設定するもの。

3. 応募要件

(1) 統一テーマへの応募要件(以下のいずれかを満たしていること)

- ① 直接に関連するテーマで外部資金(科研費等)に応募すること。または採択中であること(代表者、分担者の別を問わない)。学内の共同の企画等に参画する意志があること。
- ② 外部資金と関係なく関連する統一テーマで研究を行い、学内の共同の企画等に参画する意志があること。

(2) 自由テーマへの応募要件(以下のいずれかを満たしていること)

- ① 研究代表者として科研費に応募すること。または既に研究代表者として科研費採択中であること。
- ② 2021年度特別研究員Ⅲ候補者であり、国際的な枠組みの研究を予定していること。
- ③ テニユアトラック教員であり、研究を加速させる必要のある者。

* 科研費への応募を前提として自由テーマへの申請を行った者が科研費への申請を取りやめた場合には、総研プロジェクトの申請も辞退したものとして扱います。

4. 研究期間

2021年4月1日～2022年3月31日

* 複数年にわたって研究を継続する場合でも毎年度申請書を提出して下さい。

* 研究終了後、実施報告書の提出が必要となります。

(「7. 実施報告書または論文の提出について」参照)

5. 援助金額

(1) 総額600万円(予定)

一人当たりの援助額は運営会議で協議の上、学長が決定した後、研究代表者に通知します。

(2) 下記①～③の要件(複数も可)を満たす場合には若干の増額を行う場合があります。但し、実施できなかった場合は、増額分についてはご利用いただけません。

① 統一テーマで研究を行う

② 研究テーマに関するワークショップ等を年度内に開催する

a 海外から研究者を招聘する

b 国内の研究者を招聘する

* a、bのいずれの場合も大学・研究所等に所属していることを要件とし、所属のない個人は不可とします。

* ワークショップ等は当該援助金を使用せずに実施することも可能です。

* ワークショップ終了後、報告書の提出が必要です。

③ 海外での調査研究を含む

* 年度内に、総研プロジェクト、個研費、科研費のいずれか(又は合算)による研究出張を実施することが前提となります。

6. 応募方法

「総研プロジェクト申請書」の必要事項をご記入の上、研究支援課に提出してください。

応募〆切：2020年11月5日（木） 厳守

申請書提出先：研究支援課

7. 実施報告書または論文の提出について

締切：2022年4月11日（月）

留意点 1) 指定の様式にてご提出ください。使用する文字は原則10.5ポイントの明朝体としてください。

統一テーマ：A4判指定様式 6～9枚(図表を含む)

すでに学内誌に同一内容を掲載された場合は指定様式1～2枚にその概要を記し、学内誌の巻号、題目、ページを明示してください。学外誌の場合は正規の実績報告の提出が必要です。

自由テーマ：A4判指定様式 1～2枚

留意点 2) 統一テーマを選択した場合は論文形式（約1万字）で提出することも可能です。

ご希望の場合は研究支援課までご連絡ください。

論文形式の場合は武蔵学園学術機関リポジトリに登録申請が可能となります。

留意点 3) 提出された報告書、論文は翌年度発行の総合研究所紀要に掲載されます。

〔問合せ先〕 研究支援課 内線5253

E-mail : rsi@sec.musashi.ac.jp

（上野・中本）